



**TREX**

**CSR報告書2020**

Corporate Social Responsibility Report 2020

# 0 | content

コンテンツ



1 | **トップメッセージ**  
top message

2 | **会社情報**  
company profile

3 | **トピックス2019**  
topics 2019

4 | **経営とCSR**  
management & CSR

5 | **ガバナンスの取り組み**  
governance effort

6 | **お客様と、お取引先様とともに**  
customer & business partners

7 | **従業員とともに**  
with employees

8 | **安全衛生の推進**  
health and safety

9 | **環境への取り組み**  
environment

10 | **地域社会とともに**  
community involvement

# 1 | top message

トップメッセージ

## 時代の要請に対応した 製品づくり



日本トレクス株式会社 代表取締役社長

中島 光彦

# FUTURE



# 1 top message

トップメッセージ



創業以来の  
トトレクスの思い

日本トトレクスは1964年の創業以来、時代によって変化する社会のニーズを捉え、満足いただける商品の提供を経営理念として企業活動してまいりました。事業を通じて「豊かな暮らしづくり」を目指し、環境に配慮しながら持続可能な社会発展への貢献に取り組んでいます。



物流業界へ  
新たな一手

「働き方」の変化は、お客様である物流業界にも大きな影響を与えました。今後、コンプライアンスの強化や少子高齢化によるドライバー不足の深刻化などにより、1台当たりの輸送量が大きく、モーダルシフトにも対応した「トレーラ化」がより一層進んでいくものと予想されます。そのような中、現在の技術を生かした具体的な取り組みとして、1人のドライバーで大型車2台分の荷物を運ぶことのできる「ダブル連結トラック」や、ドライバーから荷役作業を分離し、最大限運転業務に集中することのできる「スワップボデー」、製造時のCO<sub>2</sub>排出量が極めて低く、接着剤を使わない環境に配慮した冷凍車用パネル(パネクト)など、今までにない新しい製品をお客さまに使っていただくことで、国土交通省が推進する「強い物流」にも貢献してまいりたいと考えています。



変化  
新型コロナウイルスによる

今年は世界的に新型コロナウイルスの感染が広がり、私たちの生活は大きく変化致しました。生活だけではなく「働き方」へも大きな影響を与え、転換期を迎えています。当社でも在宅勤務を推奨することや、時差出勤を取り入れるなど、新しい「働き方」を推進しております。従業員は会社の宝ですので、従業員1人1人の健康を第一に引き続き対策に取り組んでまいります。



どんな時代でも  
選ばれる  
トトレクスを目指して

日本トトレクスは創業56年を迎えた今でも、日々お客様にとって満足いただける車両は何か問い続け生産・販売活動を続けております。現在のような先行きを見通すことが難しい世の中でも、お客様に喜んで使っていただける製品の提供、満足していただける製品の提供に対する姿勢は不変です。物流を支える根幹という意識を持ち続け、日本トトレクスとして使命を果たすために努力を続けてまいります。また、世界的に大きな目標となっている「持続可能な社会」を実現するために、ステークホルダーはもちろんのこと社会全体と協力し推進してまいります。



ダブル連結トラック



スワップウイングボデー

# 2 | company profile

会社情報

## ■ 会社概要

### 日本トレクス株式会社

所在地 愛知県豊川市伊奈町南山新田350  
 設立 1964年(昭和39年)8月1日  
 資本金 20億1,100万円  
 株主 極東開発工業株式会社  
 売上高 505億1,600万円(2020年3月期)  
 事業内容 トレーラ、タンク、ウイングボデー、バンボデー、バンキット、  
 コンテナ、シェルタ、各種部品などの輸送用機器の製造販売



本社事業所  
 敷地面積 125,000㎡ / 建物面積 54,000㎡



音羽事業所  
 敷地面積 21,000㎡ / 建物面積 13,300㎡



御津事業所  
 敷地面積 36,000㎡ / 建物面積 10,000㎡

### 販売拠点とサービス拠点

#### 【販売拠点】

##### 北日本営業部

- ① 北海道支店
- ② 東北支店

##### 東日本営業部

- ③ 関東支店
- ④ 新潟営業所
- ⑤ 千葉支店

##### 首都圏営業部

- ⑥ 東京支店
- ⑦ 横浜支店

##### 中部営業部

- ⑧ 静岡支店
- ⑨ 名古屋支店
- ⑩ 富山営業所

##### 近畿営業部

- ⑪ 大阪支店
- ⑫ 阪神支店
- ⑬ 岡山支店

##### 西日本営業部

- ⑭ 広島支店
- ⑮ 西日本特販課
- ⑯ 九州支店
- ⑰ 南九州支店

##### 特装営業部

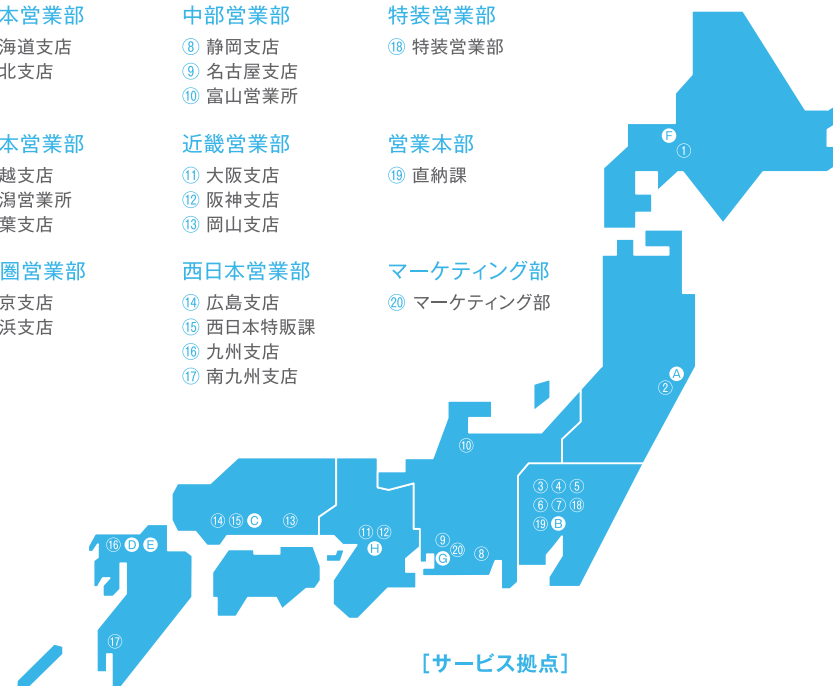
- ⑱ 特装営業部

##### 営業本部

- ⑲ 直納課

##### マーケティング部

- ⑳ マーケティング部



#### 【サービス拠点】

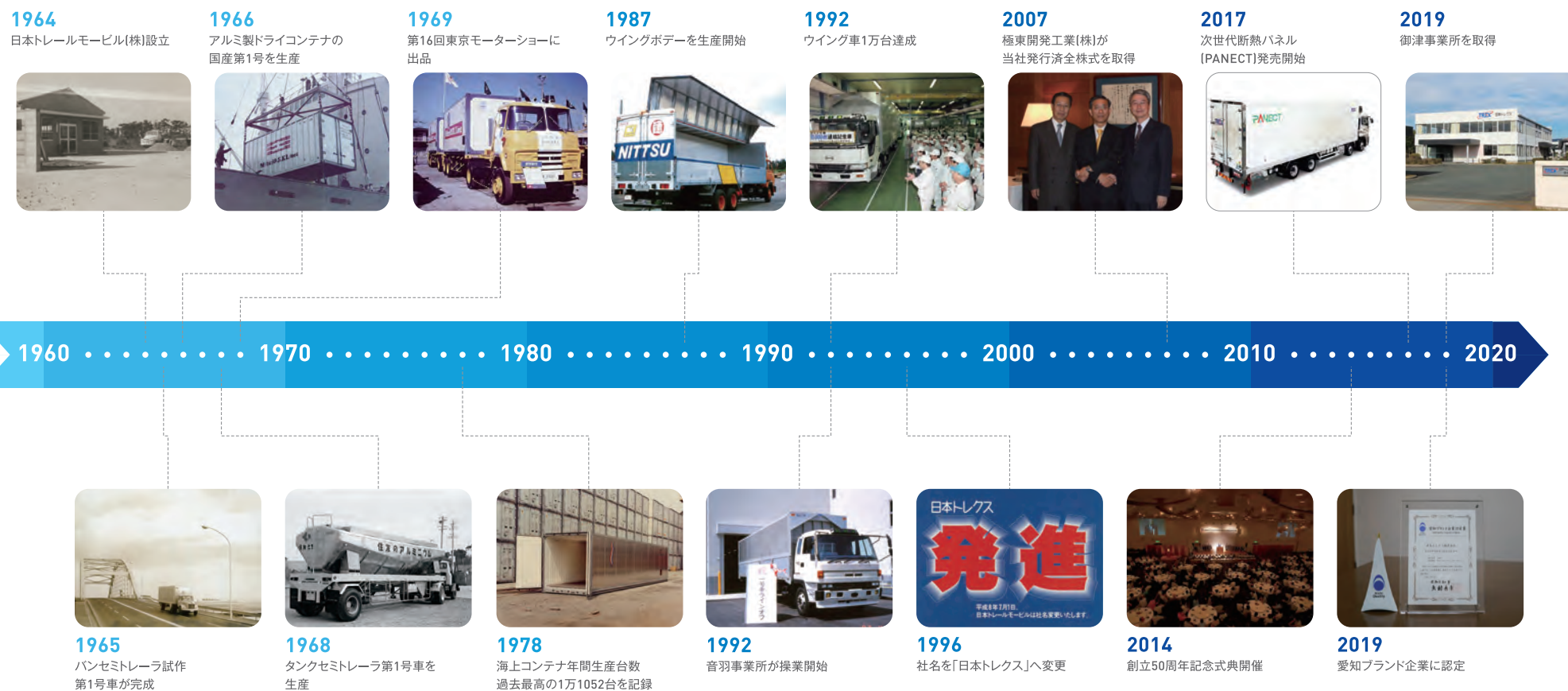
- A 東部ロードサービス課(東北)
- B 東部ロードサービス課(東京)
- C 西部ロードサービス課(広島)
- D 西部ロードサービス課(九州)
- E 西部ロードサービス課(福岡)
- F トレクスサービスセンター北海道
- G トレクスサービスセンター中部
- H トレクスサービスセンター中部ロードサービス(大阪)

# 2 | company profile

会社情報

## ■トレックスの歴史・沿革

創業以来、輸送用機械器具製造メーカーとして、時代とともに変化する社会のニーズを捉え、満足いただける商品の提供を目標として活動してまいりました。日本トレックスの半世紀にわたる歴史をご紹介します。





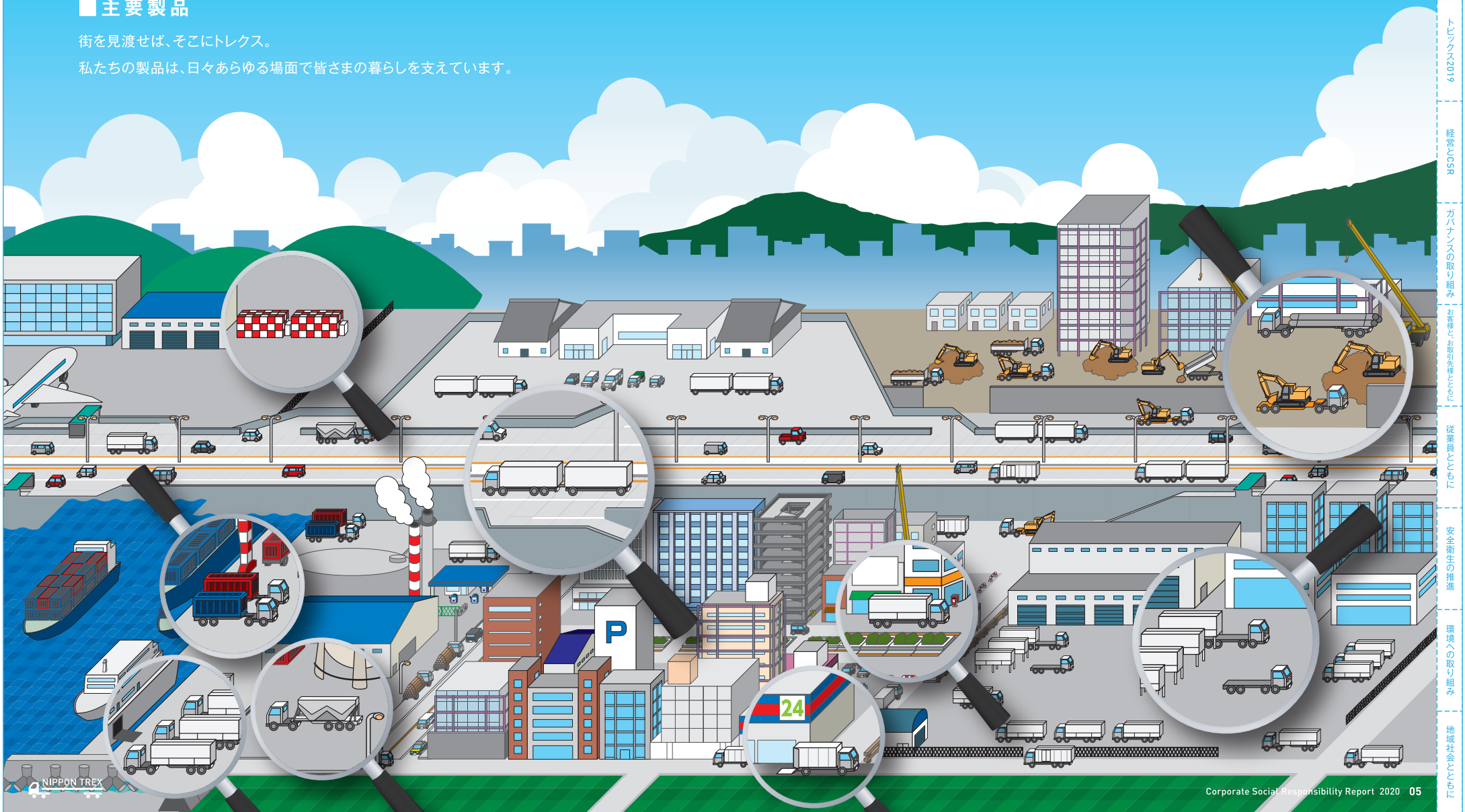
# 2 | company profile

会社情報

## ■ 主要製品

街を見渡せば、そこにトレクス。

私たちの製品は、日々あらゆる場面で皆さまの暮らしを支えています。



トップメッセージ  
会社情報  
トレックス2019  
経営とCSR  
ガバナンスの取り組み  
お客様とお取引先様と  
従業員と  
安全衛生の推進  
環境への取り組み  
地域社会と

# 3 | topics 2019

トピックス 2019

1

日本トレクスレポート:01

NIPPON TREX Report:01

4

質の高い教育を  
みんなに



## エフエム豊橋様主催「小学生ラジオCMコンテスト」を弊社で実施 【2019年8月】

地元ラジオ放送局エフエム豊橋様主催の「小学生ラジオCMコンテスト」に協賛し、小学生の参加者の方々にトレクスのラジオCMを作成してもらいました。当日は、会社の説明と工場見学を実施し、子供たちの目線からCMを作ってもらいました。今までトレクスを知らなかった子供たちにも、知ってもらえる良い場になりました。



小学生ラジオCMコンテストの様子

2

日本トレクスレポート:02

NIPPON TREX Report:02

11

住み続けられる  
まちづくりを



## 「はたらく車大集合in豊橋」へ初参加 【2019年9月】

消防車やブルドーザー等、様々なはたらく車が集まった「はたらく車大集合in豊橋」に「冷凍バントラック(PANECT)」を展示しました。冷凍バントラックを使用し、庫内冷凍体験や運転席乗車体験を実施したり、塗り絵コーナーを用意しました。当日は、とても暑かったこともあり冷凍体験は大盛況でした。



はたらく車大集合in豊橋の様子



# 3 | topics 2019

トピックス 2019

3

日本トレクスレポート:03

NIPPON TREX Report:03



## 御津事業所を取得

【2019年11月】

弊社3つ目の事業所となる御津事業所を11月に取得しました。トラック架装をメインとし、ゲートの取付や下廻り品の取付、検査までを御津事業所で行っております。車両プールも近く製造や出荷も容易になりました。



事業所邸内遷座祭の様子



4

日本トレクスレポート:04

NIPPON TREX Report:04



## トレクスサービスセンター北海道の開所

【2019年12月】

直営のサービス工場として、北海道石狩市にトレクスサービスセンター北海道を開所致しました。より近くで、より迅速にお客様へのアフターサービスに尽力できるよう、周りのサービス工場様とも協力しサービス対応を行ってまいります。



開所式の様子



# 3 | topics 2019

トピックス 2019

5

日本トレクスレポート:05

NIPPON TREX Report:05

8

働きがいも  
経済成長も



## 健康経営優良法人2020に認定 【2020年2月】

健康経営優良法人2020に認定されました。従業員の健康を第一に、睡眠、食生活等の生活に関連するセミナーや、ウォーキングキャンペーンを実施するなど、積極的に健康経営に取り組んでおります。引き続き健康を第一に働きやすい会社を目指します。



2020  
健康経営優良法人  
Health and productivity

健康経営優良法人2020マーク

# 4 | management & CSR

経営とCSR

## ■ CSRに対する基本的な考え方

当社は、長年にわたり培ってきた技術と信頼を軸に、お客様やお取引先様などをはじめとしたステークホルダーの皆さまとともに、世の中の発展に向けて、新たな価値を創造してまいります。

2013年にCSRポリシーとして「日本トレクスビジネス行動規範」を制定し、これをベースにステークホルダーの皆さまとともにスパイラルアップしながら、社会の発展に貢献していきたいと考えています。

### 企業理念

顧客(おきやくさま)の信頼に応え、  
満足される商品と  
サービスを提供する。

### ビジネス行動規範 (抜粋)

企業が効率や利益を追求し競争を行うこと自体は、正常な企業活動です。しかし、利益の追求、競争が高ずるあまり、企業活動が社会的正義に反するものになってはなりません。日本トレクスの企業活動は、お客様やお取引先をはじめ、株主、地域社会などの数多くの人々との関係の中で成り立っており、健全な企業活動を通じて、これらの人々の期待に応える責任があります。日本トレクスは、企業としての社会的役割、責任を自覚し、社会とともに成長し発展し続けます。

# 4 | management & CSR

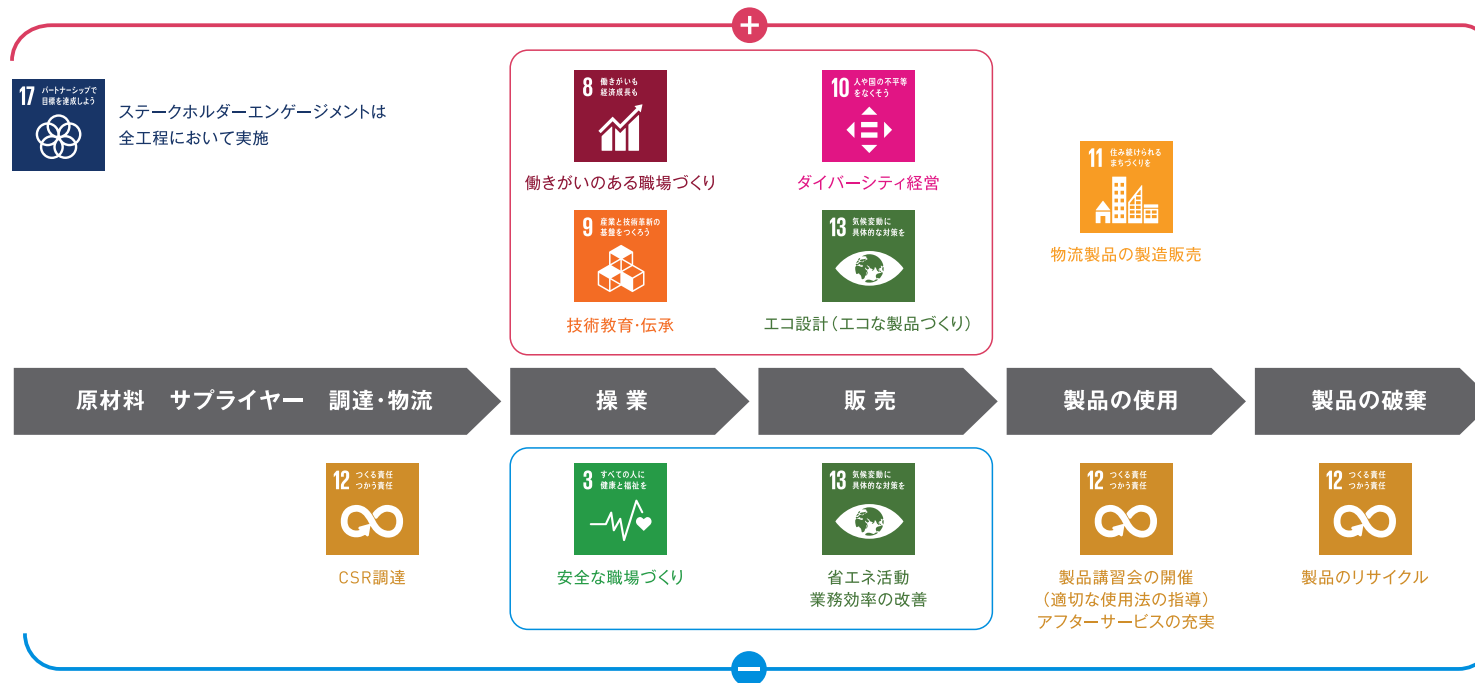
経営とCSR

## ■日本トレクスとSDGs

2015年9月、国連総会で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」。  
SDGsはあらゆる社会課題の解決に全世界が取り組み、「誰ひとり取り残さない世界」を実現させるための17個の目標です。これを受け当社もSDGsに貢献する取り組みを推進しています。具体的には、2018年度に実施したCSR活動項目の刷新時にSDGsの関連付けを開始。SDGsの達成に向け、社会の一員としての役割と責任を果たすために、積極的に取り組んでまいります。

**重要課題** 社会課題の解決につながる当社グループの取り組みを、バリューチェーンに沿って特定しました。事業を通じてこれらに重点的に取り組むことで、SDGsの達成と持続可能な社会の実現に大きく貢献しています。

### SDGsの目標達成に向けて「正の影響」を強化することができる取り組み



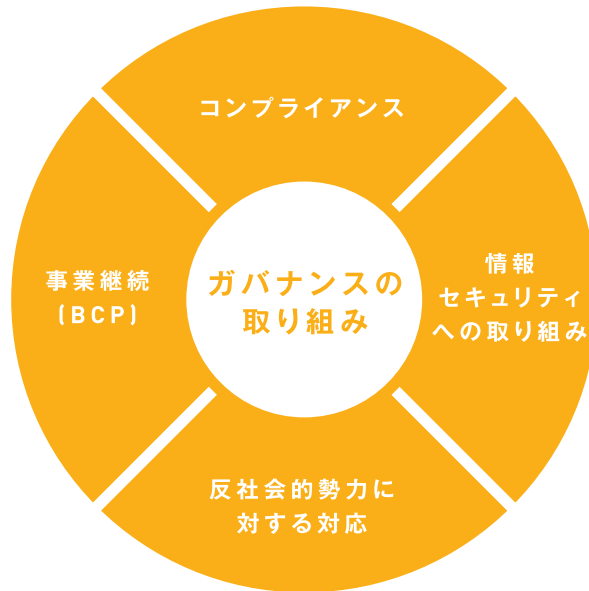
### SDGsの目標達成に向けて「負の影響」を抑制することができる取り組み

# 5 | governance effort

ガバナンスの取り組み



## ■ ガバナンスの取り組み



### コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は持続的な発展による企業価値の向上こそが経営上の最重要課題であると位置づけております。そのためには経営の健全性を確保し、全社に法令遵守を徹底し、企業の社会的責任を果たすことが必要であると考えております。また、今日のように社会環境が激しく変化し続けるなかで、これに迅速に対応する効率的な経営体制を構築し、さらに向上させるべく努めてまいります。

### ○ コンプライアンス

法令や社内のルールなど、コンプライアンスに沿った行動を従業員が取れるよう、従業員が守るべきルールを『日本トレクスビジネス行動規範』に定めるとともに、全従業員を対象にした社内ネットワーク上での『コンプライアンス教育』を実施しています。また、コンプライアンスに関する相談や不正行為等の通報のために外部機関に担当者を置いた『コンプライアンス・ホットライン』を設置し、通報者の保護を徹底した内部通報制度を運用しています。

### ○ 事業継続 (BCP)

当社は大規模地震など不測の事態が発生した場合の対策として「地震防災関連規定」を制定し、そのうえで人命の安全確保が最優先と考え、従業員やその家族の安否が携帯電話でいち早く確認できるシステム(オクレンジャー)を導入しています。また、各事業所や営業所では、万が一の事態に備えて防災備蓄品を常備し、復旧に向けた対応ができるよう対策しています。



備蓄食料品

防災のしおり

### ○ 情報セキュリティへの取り組み

当社は情報資産を適切に管理・保護するとともにサイバー攻撃等の脅威に対応すべく情報セキュリティに関する各種規定を策定し、これに基づくセキュリティ対策に取り組んでいます。また、情報セキュリティに関する意識向上と技術レベル向上のため、従業員に対して継続的に教育を行ない、その遵守の徹底を図っています。

	テーマ
情報セキュリティ教育	標的型メール攻撃に関する訓練メール配信、アンケート結果報告
	マイニングウェアウイルスによるPC乗っ取りについて

### ○ 反社会的勢力に対する対応

当社は社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体と一切関係を持たず断固として対決します。反社会的勢力および団体からの接触を受けた際には、警察・弁護士など外部機関との連携を図るとともに、経営トップをはじめとして全社一丸となって組織的に対応を行います。

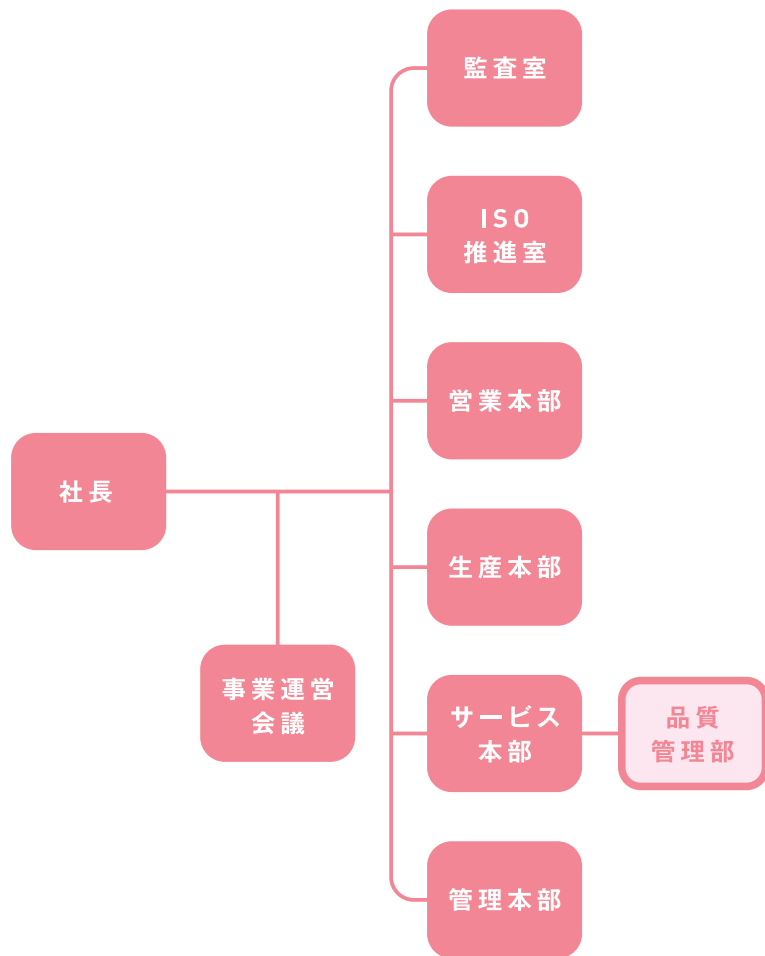


# 6 customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



## 品質保証



### 品質保証体制

当社では、お客様の信頼に応え、満足される商品とサービスを提供し続けるため、社長をトップとした品質保証体制を構築しています。「品質向上会議」や「品質確認会」を定期的開催し、使用時におけるリスクの低減を図るとともに、より良い製品づくりに向けて改善活動を継続して行っています。

また、製作の技術向上のため社内にて、実技指導を交えた講習会を実施しております。



品質向上会議



品質確認会



社内講習会

### 品質マネジメントシステムの運用

日本トレクスでは全事業所で品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001(2015年度版)の認証を取得しています。各事業所では「改善計画策定」「改善実行」「達成状況の評価」「次の改善への反映」のPDCAサイクルを徹底し、製品安全の確保、品質の確保、継続的品質の改善に努めるとともに、品質マネジメントシステムの有効性監査を2000年度から継続して実施しています。

### 情報開示

当社製品におけるリコール・改善対策・サービスキャンペーンといった市場改修に関しては、速やかに所轄官庁に報告する体制を整えています。それとあわせて、できるだけ早期にお客様にその情報が伝わるようにホームページやダイレクトメールでお知らせを行っています。なお、リコール等の情報については、当社ホームページでもご覧いただけます。

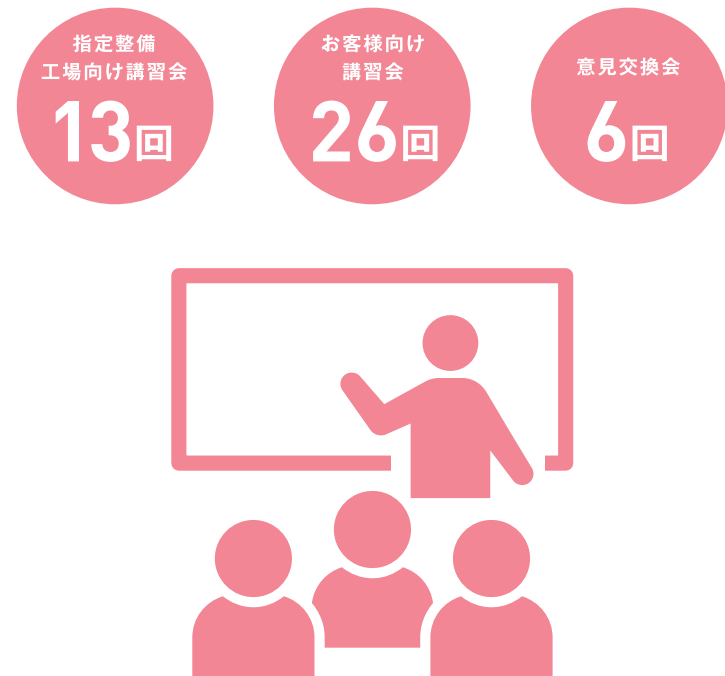
リコール等届出日	件名	対象機種
2019年 6月27日	セミトレーラ(シングルタイヤ用ホイール)に関する市場改修	トレーラ
2019年 8月27日	セミトレーラ(ブレーキ配管)に関する市場改修	トレーラ
2019年10月25日	センターアクスルフルトレーラ(ドロバ)に関する市場改修	トレーラ
2019年10月25日	コイル運搬用セミトレーラ(スペアタイヤ取付装置)に関する市場改修	トレーラ
2020年 2月21日	バン型大型トラック(スペアタイヤ取付装置)に関する市場改修	トラック

# 6 customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



## ■ サービス品質向上に向けた取組み



当社では、サービス品質向上の一環として、製品が本来もっている性能をフルに発揮し、長期間にわたり当社製品を安全に安心してご使用いただけるよう、技術的な知識や整備に関するノウハウについて講習会を開催しております。2019年度は「指定整備工場向け講習会」13回、「お客様向け講習会」26回、「意見交換会」6回と、計45回の講習会を行いました。今後も全国のサービス網と連携しながら、継続したアフターサービスを提供することで、お客様満足度の更なる向上を目指してまいります。

## ○ 指定整備工場向け/お客様向け講習会の開催

ディーラー整備担当者およびユーザー整備担当者に対し、「車軸・エアサスペンション・ブレーキ・ウイングボデー」の整備方法について、より理解を深めてもらうため、トレーニングセンターを設けて講習会を開催しています。トレーニングセンターでの講習会以外にも、トレーニング機材をお客様のもとへお届けしての出張講習も実施しています。



## ○ 安全講習会の開催

ドライバー・運行管理者向けの講習会で、「始業前点検・定期交換部品・構造説明」に重点を置き講習を行うことで、安全運行に関する知識を深めていただきます。



## ○ 運転講習会の開催

トレーラを新規導入されるお客様を対象として、操作方法や注意事項を習得していただくことにより、トレーラの運転に対する理解を深めていただきます。



## ○ トレーラ新車点検制度

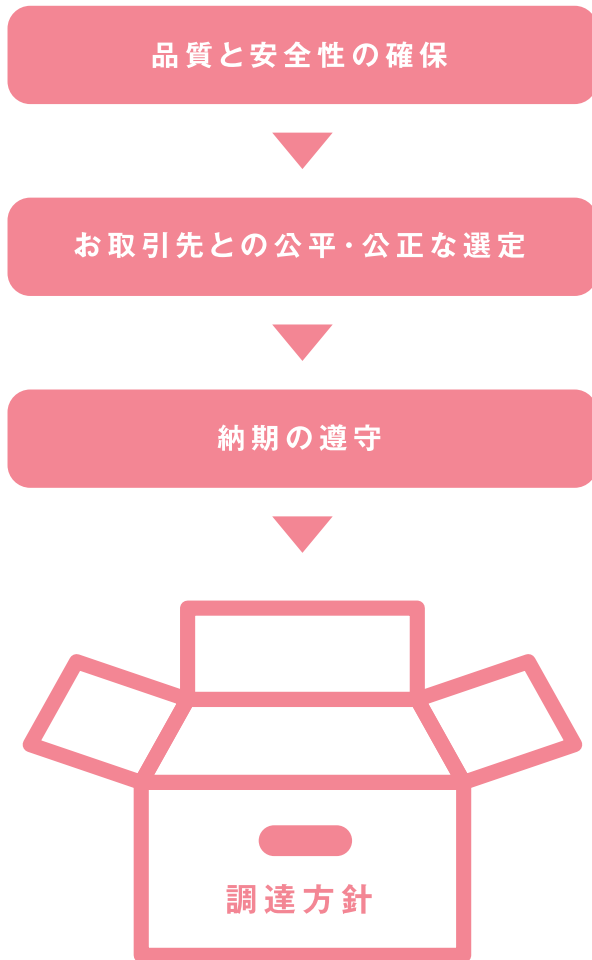
新車登録後、1ヶ月の時点で、異常がないかを確認させていただくための点検です。トレックスのトレーラは全車『1ヶ月新車点検サービス』を行っており、安心してお使いいただけるよう、エア漏れやナットの緩みなど、30項目以上にのぼる点検を無料で実施しています。

# 6 | customer & business partners

お客様と、お取引先様とともに



## ■ CSR 調達



日本トレクスは企業理念の実現のため、高品質で環境に優しくコストパフォーマンスに優れた部品や原材料、設備の調達を目指しています。そのためには、お取引先と当社が対等な立場で相互に信頼し、共存共栄できる関係をつくることが重要だと考えています。また、環境方針を資材調達活動の基本的な考え方の一つとしてとらえ、これらを基に「調達方針」を制定し、お取引先に対してご協力をお願いしています。

### ○ お取引先との交流

中長期的な経営戦略や生産・販売・調達に関する方針をお取引先と共有するため、毎年「総会」を開催しています。また、お取引先で構成される「協力会」とも連携し、定期的に情報を交換しています。



トレクス会 総会の様子

### ○ グリーン調達

地球環境・地域環境に配慮した製品を社会に提供するため、環境に配慮した活動を行なうお取引先から、環境負荷がより少ない物品を調達するよう努めています。

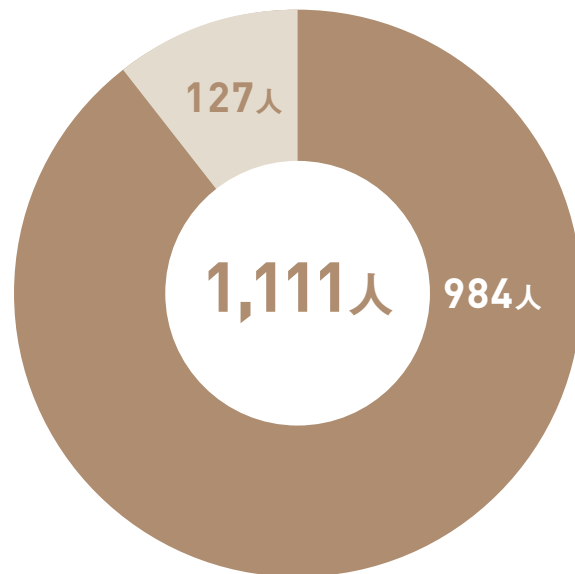
# 7 | with employees

従業員とともに

## ■ 雇用状況

日本トレクスでは、1,111人の従業員が働いています。(2020年3月末時点)

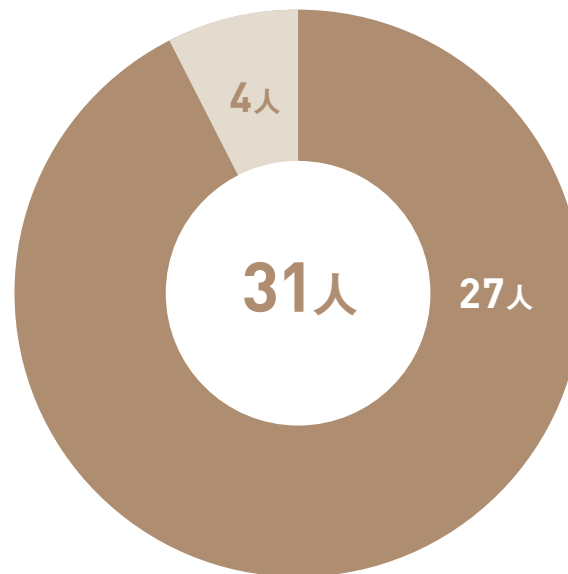
### 従業員数



■ …男性    ■ …女性

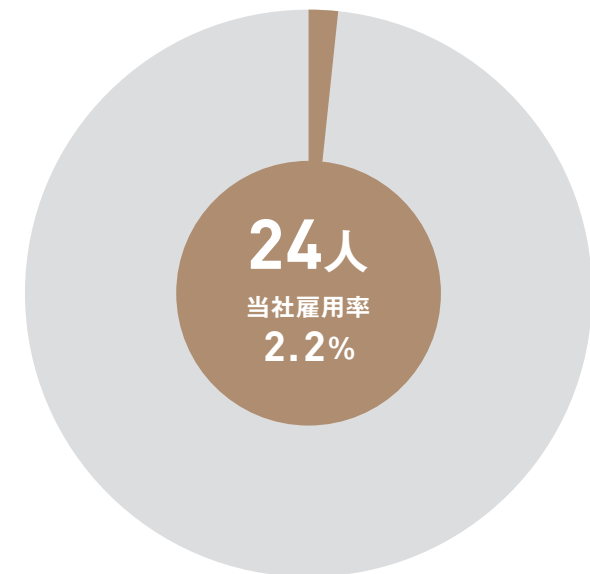
- ※正社員・契約社員・パートの合計人数
- ※出向者は出向先を含む
- ※管理者含む

### 新卒採用者数



■ …男性    ■ …女性

### 障がい者雇用人数



# 7 | with employees

従業員とともに



## ■ 育児・介護に向けた支援

従業員が安心して育児や介護に専念できるよう、短時間勤務や時間差勤務制度など、労働時間に関する制度のほか、産前産後の通院に配慮した制度や復職に際しての制度を設けるなど、「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けた体制づくりを進めています。

有給取得平均日数

11.9日



育休取得者数

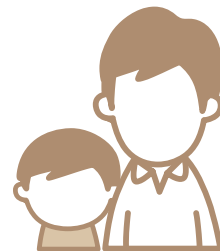
7人  
(うち男性2人)

### トラック架装課 佐野功記さん

約2週間ほど育休を取得させて頂きました。製造現場ということで、自身の仕事のポジションが空いてしまうので、育休を取るのには難しいかなとも思いましたが、上司や職場の方々にも理解していただけたので、取得しやすい環境でした。

妻の体調が産後すぐれず、妻のサポートと育児のために休暇をいただいていたのですが、取得することができて良かったです。

復帰の際も快く受け入れてもらったので、不安なく戻ることができました。



### 原価管理課 齋藤純子さん

社内で育休を取り復帰された方がたくさんいたので、育休制度はとても使いやすかったです。休み前は後任がなかなか決まらず焦りました…。ですが、課内の方々サポートもあり、問題なく休みに入ることができました。また、コロナ禍の影響で保育園より登園自粛要請があり復帰予定日に復帰できなかった際、急な延長にもしっかり対応してくださいました。

復帰した現在は、時短勤務をしています。子供の体調によって急にお休みをいただいたり、時間内に業務をこなせるか不安な面も多いですが、課内で他の人が対応できるフォロー体制を作っていただきとても助かっています。復帰後も子育てに休みはなく大変なことばかりですが、それ以上に子供はかわいくてたまりません!!





# 7 | with employees

従業員とともに



## ■ 人材育成

従業員の成長と役割自覚、やりがい、働きがいを形成する人事制度や研修、表彰制度などを運用しています。

### 人事制度

従業員自身が関わった業績への自己評価やキャリア形成の意向、異動の希望などを申告する機会を定期的に設け、従業員一人ひとりが自身に求められる期待や役割を自発的に果たせる人材に成長できるよう、人事制度を運用しています。また当社では「より仕事を通じた価値創造のできる人材育成」をすすめることを目的として、2020年度より新しい人事制度の運用を開始します。

### 能力開発制度

勤務年数や役職に合わせて職務に必要なスキルを身につける「階層別研修」と、職業人生における今後のキャリア形成を支援する「キャリア研修」を実施し、年間を通じて従業員自らが能力開発していく基盤づくりをサポートしています。

### 従業員表彰制度

〈改善実施賞制度〉では、品質・安全の向上、原価の低減など、従業員の創意工夫による改善実施の結果を適正に評価し、優秀な改善事例については、年2回開催される発表会で紹介され、従業員同士で認識を共有しています。また〈安全表彰制度〉では、安全意識を高揚し、労働災害の減少を図るため、他の規範と認められた職場を表彰し、自主的な安全衛生の推進を促進しています。

### 自己啓発通信教育奨励制度

語学・資格取得対策・専門技術・特殊技能などさまざまな分野の通信教育約250講座の中から、各自が自由に選択して受講することができる制度です。修了状況に応じて通信教育受講料を最大全額奨励金として支給し、従業員の自発的なスキル向上を促進しています。

### 技能講習会・技能検定

製品の品質向上と技能伝承を目的に、従業員を対象とした各種業務に必要な技術の講習会や検定を実施しています。

- 玉掛け技能講習
- プレス作業主任者技能講習
- ガス溶接技能講習
- 木材加工用機械作業主任者技能講習
- 高所作業車技能講習
- クレーン特別教育 他
- フォークリフト技能講習



若手営業職勉強会



改善事例発表会



高所作業車技能講習(外部機関で実施)

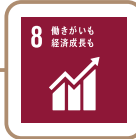


クレーン特別教育(本社事業所で実施)

# 7 | with employees

従業員とともに

## ■ より良い職場環境へ



### ○ 職場環境改善

安心して働ける職場環境づくりには、従業員の安全・健康に対する配慮の徹底が不可欠と考え、健康維持・増進に向けたさまざまな施策を実施しています。

<p>熱中症対策</p>	<p>夏場の熱中症対策として、水分・塩分補給のためのスポーツドリンク、塩飴の配布を行うとともに、新たに空調服の貸与をはじめました。また、職場環境の改善として、工場屋根の断熱化を順次すすめるとともに、スポットクーラー等の設備導入も推進しています。</p> 
<p>AED 〔自動体外式除細動器〕 の設置</p>	<p>本社事業所に4台、音羽事業所に2台、御津事業所に1台常備しています。必要時に迅速かつ適切にAEDが使用できるよう、各職場ごとに救急救命講習修了者を配置し、来社されたお客様や従業員、地域の皆さまの万一の事態に備えています。</p>

## ■ レクリエーション



コミュニケーションの取りやすい風通しの良い職場づくりに向けて、社内レクリエーションや各種クラブ活動に積極的に取り組んでいます。



トレクスサイクリングクラブ



トレクスランニングクラブ



日本トレクスサバゲークラブ

# 7 | with employees

従業員とともに

## ■ココロとカラダの健康づくり



家庭と仕事を両立させ安心して働き続けられるよう、アニバーサリー休暇の制定や、ノー残業デーの制定など、働きやすい職場づくりに取り組んでいます。

### ○健康経営宣言

従業員が心身ともに健康であることを第一とし、従業員の健康と個人の能力を最大限に発揮できる職場環境づくりを推進するため、「健康経営宣言」を制定しました。

### ○健康セミナーの開催

従業員の健康を守るとともに、健康に対する意識を高めてもらうべくセミナーを開催しています。睡眠や食生活等日常生活に関わるセミナーから、リフレッシュできるストレッチや筋力トレーニングで実際に体を動かしながら受講できるセミナーを実施しています。

普段の生活から心がけていただける内容となっており、健康への意識を高めてもらえるよう推進してまいります。



### ○カラダの健康

健康をサポートするために、健康保険組合と協同し、各種セミナーやウォーキングキャンペーンを実施しています。福利厚生として、提携スポーツクラブの法人価格での利用も推進しています。

### ○ココロの健康

ストレスチェックや面談を行い、メンタルヘルスが損なわれることのないような職場づくりをすすめています。万が一、従業員がメンタルヘル스에不調をきたした場合は、専門機関と提携して医療職との面談を重ねながら、職場復帰のためのフォローを行っています。また、管理者・従業員に対し、専門の講師を招いて「ハラスメント研修」を開催し、誰もが働きやすい職場づくりに向けた啓蒙をすすめています。

### ○休暇の制定

〈アニバーサリー休暇〉では定期的に心身ともにリフレッシュを図ることを支援するため、6日間/年をアニバーサリー休暇として従業員各自が設定、計画的に年次有給休暇を取得しています。

〈永年勤続制度〉では勤続10年ごとに従業員に感謝の意を表し、連続5日間の休暇を付与する制度を導入しています。

# 8 | health and safety

安全衛生の推進



## ■ 安全衛生に向けた取り組み

当社では、従業員の安全と健康の確保が企業の存続の基盤をなすものと認識し、安全衛生管理規定に基づいて、さまざまな安全運動に取り組んでいます。

### +

#### 安全衛生委員会の開催

毎月1回、それぞれの職場で発生した事故やケガの状況、安全に関する取り組み事例の紹介など、安全衛生に関する情報交換や問題解決に向けた話し合いを行っています。



安全衛生委員会の様子

### +

#### 安全巡視(パトロール)の実施

メンバーが作業エリアを分担してパトロールを実施し、不安全な作業の廃止や、不安全な状況の改善に向けて、見回り活動を行っています。



安全巡視の様子

### +

#### 安全体感教育の実施

災害を疑似体感できる装置を用いた「安全体感教育」を協会会社含め全従業員に実施しています。安全体感教育を実施することで、危険に対する感受性を高めるとともに、不安全行動の抑制を図り、労働災害を未然に防ぐことを目指しています。



安全体感教育の様子

### +

#### 防災訓練

本社事業所・音羽事業所・御津事業所では、各事業所ごとに「自衛消防隊組織」を編成するとともに、いざという時に従業員自らが安全行動を取れるよう、大規模地震を想定した訓練を行っています。



消火訓練の様子

### +

#### 安全祈願の実施

本社事業所内に建立された明神社では、毎月第1営業日に、社長、役員および管理監督者による安全祈願が執り行われ、安全意識の高揚が図られています。



安全祈願の様子

### +

#### 安全衛生コンサルタント講習会の開催

安全衛生コンサルタントの講師を迎え、実際に現場をまわり現状を見てもらいアドバイスをいただいて職場の安全環境を整えています。

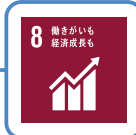


安全衛生コンサルタント講習会の様子

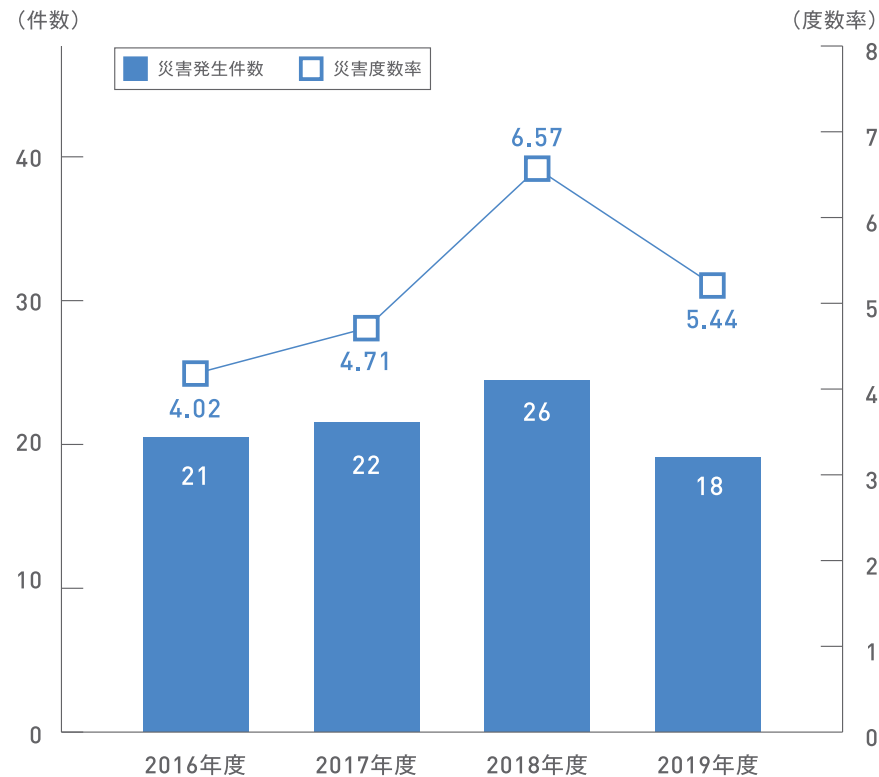
# 8 | health and safety

安全衛生の推進

## ■ 安全成績



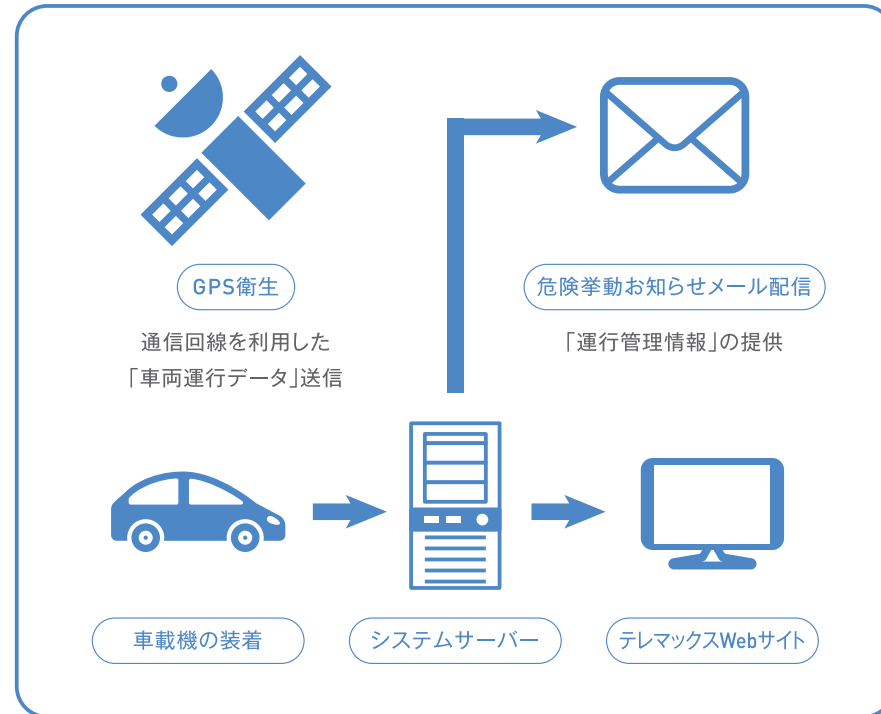
労働災害発件数の削減に取り組んでおりますが、2018年度は26件、2019年度は18件発生しました。2020年度はあらためて「労働災害ゼロ」を目標に、従業員の健康管理を含めた労災防止に努めてまいります。



## ■ 営業活動での安全対策



事故や災害は工場に限ったことではありません。当社では、日々の営業活動においてより安全で、且つ安心して移動できるよう、社有車にドライブレコーダー、通信機能やGPS機能を備えた専用端末を取り付け、運行状況を見える化できるシステム(テレマティックシステム)を導入しています。速度超過のほか、急ブレーキや急加速といった不安全運転を察知し指導することで、社用車を使用する従業員の安全と、車による事故を未然に防止しています。





# 9 | environment

環境への取り組み

## ■ 基本姿勢

当社は生産に必要な資源やエネルギーはもちろんのこと、さまざまな点で自然から多大なる恩恵を受けて事業活動を行っています。これを念頭に、地球環境をより良い状態で時代に引き継ぐための活動を、あらゆる事業の場面で自主的かつ積極的に行っています。私たち人類にとって、地球環境はかけがえのないものです。当社は、環境を守ることが企業の責務であり、経営の重要課題であると考えています。



## ■ ISO14001への対応

環境保全活動を組織的に運営していくため、2005年に本社事業所と音羽事業所の2つの事業所においてISO14001の認証を取得しています。

1 環境問題に積極的に取り組み循環型社会を追求する

2 地球環境の保全に役立つ技術開発を指向する

3 公害防止、省エネルギーに配慮する

4 製品の再資源化に注力する

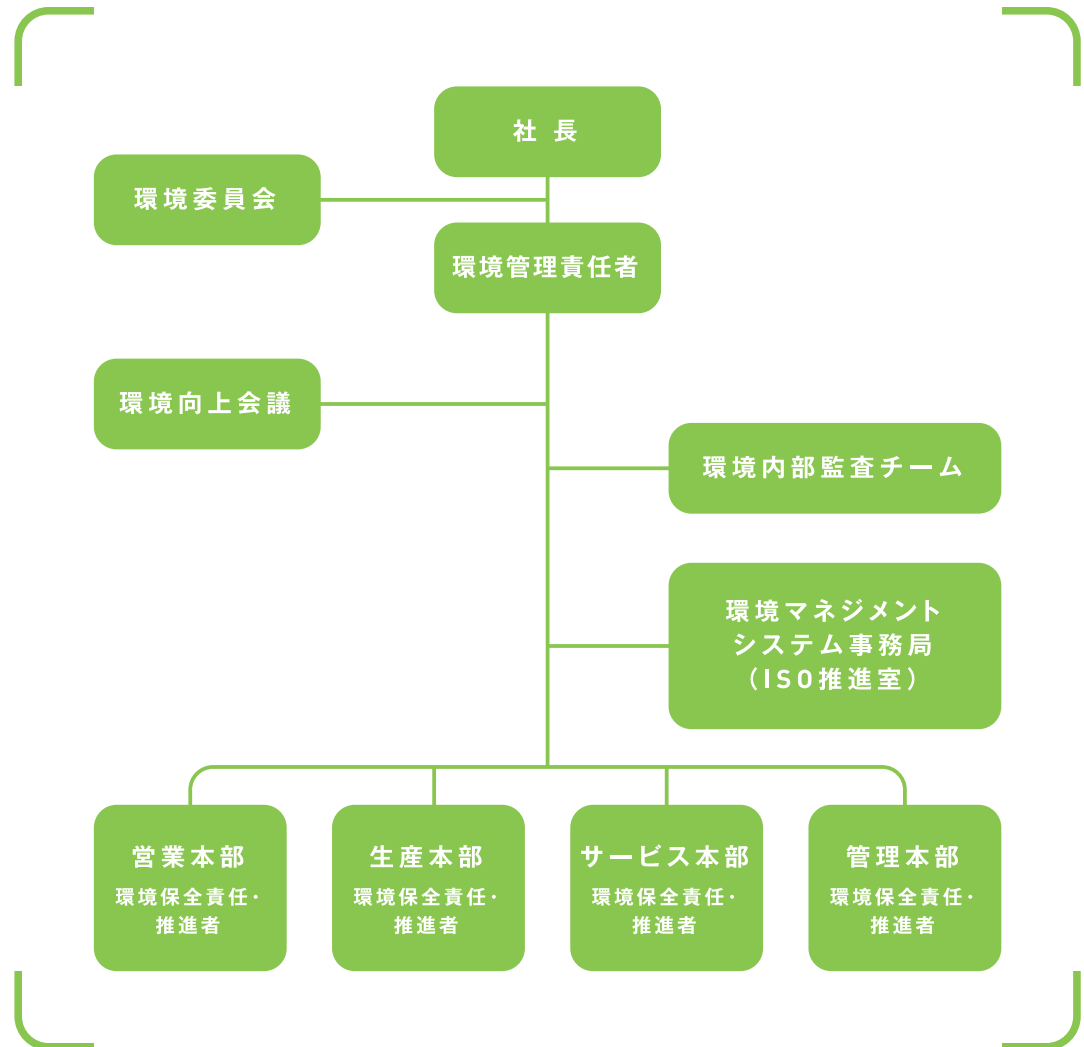
5 良好な環境の維持向上に努める

# 9 | environment

環境への取り組み

## ■ 推進体制

社長を環境最高責任者とする推進体制を構築しています。また、対象部署では各部長を環境保全責任者、各課長を環境保全推進者とし、部署ごとに1名以上の推進担当者を配置して活動の底上げを図っています。



# 9 | environment

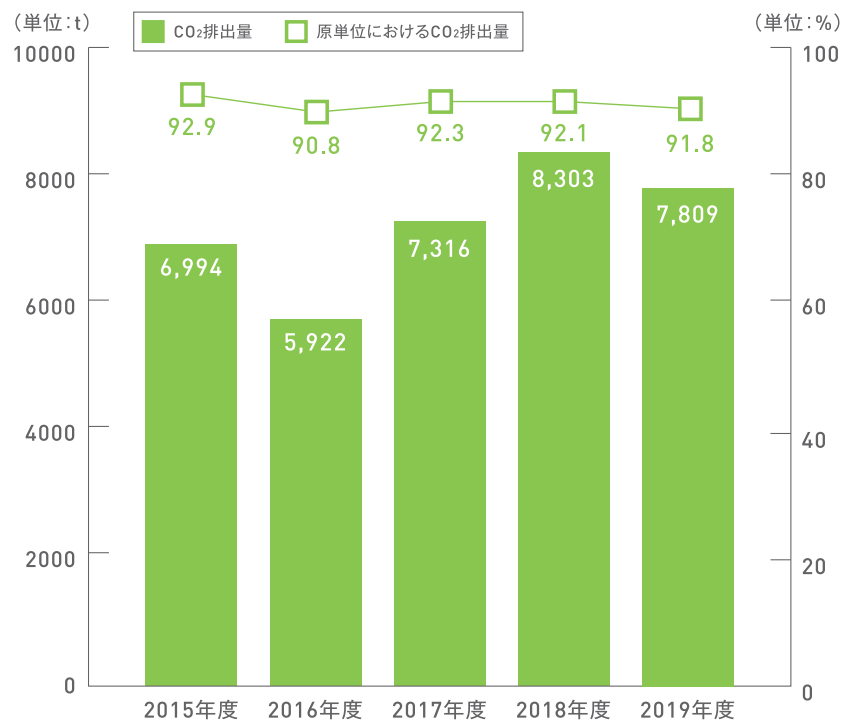
環境への取り組み

## ■ 脱炭素社会にむけて



施設内照明のLED化、省エネ機器の導入、社用車への次世代車両導入、太陽光発電の実施など、温室効果ガスの削減に取り組んでいます。今後は生産工程を含めた業務効率の改善に重点的に取り組み、事業活動全体での脱炭素化を目指します。

### ○ エネルギー使用による二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の推移



## ■ 自社植林のアカシア材を製品に使用



弊社では、2004年5月よりマレーシア・サバ州で植林事業を開始しました。そして、2020年より成長したアカシア材を製材し、トレーラやトラックの床材として製品に使用しております。

伐採した後は、挿し木苗による再植林をし再びアカシアを育て森を再生しています。これからもトレクスでは、持続可能な事業活動を行ってまいります。



# 9 | environment

環境への取り組み

## ■ 環境リスクを減らすために



### ○ 定期的な排水の水質調査

当社は、環境マネジメントシステムを運用するにあたり、法令順守を大前提に管理を行っています。定期的に排水・騒音・粉塵などを測定管理し、違反につながる事例については、早急に改善を行い再発防止に努めています。

### ○ 近隣住民の生活環境の保全

春と秋の年2回、事業所周辺にお住まいの方々へ騒音・粉塵・臭いなどでご意見がないか聞き取り調査を行い、地域住民の皆さまとの良好な関係を築くべく改善活動に役立てています。

### ○ 車両プールの集約化

遠方に複数借りていた車両プールを1カ所に集約することで、事業所間の回送距離が大幅に減少し、CO<sub>2</sub>削減を行うことができます。



水質調査の様子



御津1区プール

## ■ 省エネルギー活動



### ○ モーダルシフト

完成品の陸送を行うにあたりフェリー輸送を積極的に活用することで、エネルギー消費効率の向上およびCO<sub>2</sub>削減に努めています。

### ○ 自然エネルギーの有効活用

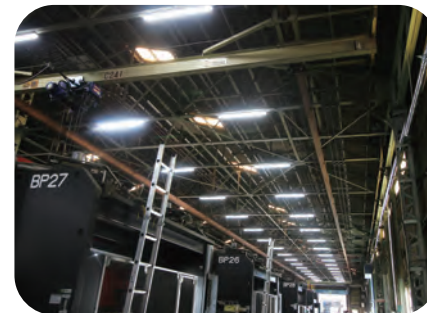
音羽事業所の屋上に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーの有効利用と環境負荷の低減に努めています。

### ○ 本社A工場の照明LED化

本社A工場の照明をLED化することで、より明るい光を少量の電力で供給することが可能です。



音羽事業所屋上の太陽光発電パネル



本社A工場の照明LED化

# 9 | environment

環境への取り組み

## ■SOCフリー化に向けた取り組み



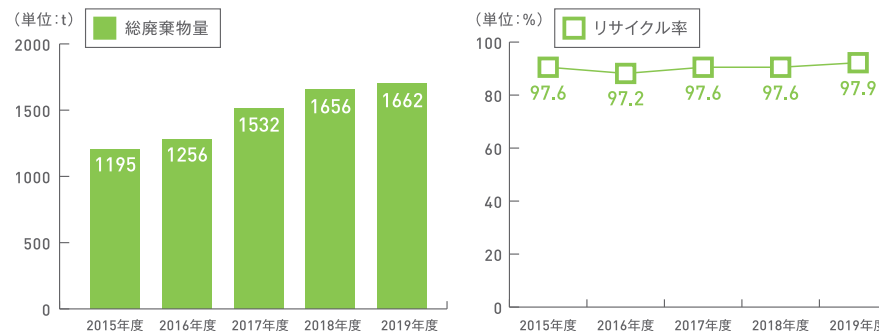
当社では、『欧州廃車指令(ELV指令:End of Life Vehicle)』、業界団体である一般社団法人、一般社団法人 日本自動車車体工業会の『環境負荷物質自主取り組み基準』、およびお客様からの要求を踏まえ、2005年よりSOC(カドミウム・鉛・水銀・六価クロム)フリー化に取り組んでまいりました。結果としてトラック系に続いてトレーラ系においても2010年度末に自主基準を達成しました。今後はエビデンスの徹底管理によるSOCフリー化の維持とともに、製品に対するお客様からの新たな化学物質管理の要求に適切に対応していくため、生産本部長をトップとする管理体制を敷き、化学物質の管理強化に取り組んでまいります。

## ■循環型社会に向けて



限りある資源を大切に利用するためにも、また廃棄物による地球環境への負担を減らすためにも廃棄物削減は重要です。当社では事業活動で発生する廃棄物削減とリサイクル向上に努めており、90%以上のリサイクル率を実現しています。今後はプラスチックゴミなどの廃棄物の総量削減に向けた取り組みをすすめてまいります。

### ○総廃棄物量とリサイクル率の推移



### ○産業廃棄物処理費用低減

スチレンやプラスチック・ピニールを社内で圧縮加工することで処理費用の低減を行っています。



作業の様子



圧縮加工された廃棄物



# 10 | community involvement

地域社会とともに



## ■ 地域との協業：01



### [ 明神祭の開催(11月第1土曜日) ]

地域との交流、地域への社会貢献の機会として、祭りやイベントなどに協賛・参加しています。日本トレクスでは毎年11月第1土曜日に本社敷地を開放し、従業員とその家族、近隣住民の方々を招待した「明神祭」を開催しています。



### [ 社会科見学の受入れ ]

ものづくりへの関心と地域産業への理解を深めてもらうことを目的に、地域の小学生を招待し工場見学会を開催しています。2019年度は小坂井西小学校の生徒が来社し、大きなトレーラが作られていく様子を見学いただきました。



### [ インターンシップ・職場体験学習生の受入れ ]

就職後に実践的な能力を発揮出来るよう、在学中に「学外実務訓練」をカリキュラムに取り入れる学校が増えています。当社もその要請に応えるべく、就業体験をしてもらうことで、職業観の形成、キャリアプランの構築など、将来の就業に活かすことができるよう支援しています。



明神祭の様子



社会科見学の様子



インターンシップの様子

# 10 | community involvement

地域社会とともに



## ■ 地域との協業：02



### 【工場周辺清掃活動】

きれいな街づくりは安全・安心の第一歩という考えのもと、工場周辺道路を中心に、定期的に清掃活動を実施しています。活動の結果、環境保全の意識が高まり、年々ゴミの量は減少しています。今後も継続した活動を実施することで、環境活動の保全に努めてまいります。

### 編集方針

本報告書では持続可能な社会の実現に向けた、日本トレックスの取組みを今後の計画とともに報告しています。

### 報告範囲・対象期間

対象組織 日本トレックス株式会社を中心にグループの活動を報告しています。

対象期間 2019年4月1日～2020年3月31日

対象読者 日本トレックスに関わる全てのステークホルダーの皆さま

発行日 2020年12月